

「全鍍連」 2019年 2月号 いきいき地域

群馬県鍍金工業組合 副理事長 引田 泰正 (三郷鍍金工業(株) 取締役社長)

「ブルーインパルスが群馬の空を飛ぶ」

群馬県内で初となる「ブルーインパルス」(航空自衛隊第11飛行隊)の展示飛行が、2018年夏の第55回桐生八木節まつりにて行われました。

残念ながら、稼働日のうえ隣の伊勢崎市ですのでイベント参加、見学には行けませんでした。入間基地への帰還途中の飛行を見ることができました。

我が社の近くでも青空に白いスモークの航跡を引いての編隊飛行が行われ、「ブルーインパルス」のその美しく雄大、華麗にして精密なフライトによる迫力あるパフォーマンスは日頃の訓練の賜物であり、大きな夢と希望をいただく象徴と、とても感動しました。

1964年の東京オリンピック開会式で「ブルーインパルス」が会場上空に描いた大きな「5つの輪」と飛翔する多数の「鳩」が重なった光景をあらためて思い出しました。この「鳩」の中には、私の趣味でもあるレース鳩の中からも参加していたこともあり、14歳の私にはとても感慨深いものとなりました。

当時の日本は高度成長時代の真っただ中で、めっき業界にも活気がありました。現在は各製造メーカーの海外生産シフトと同時に、電気自動車のような構成部品数の大幅減など、部品メーカーをはじめめっき業界には厳しい状況が続いております。

2020年東京オリンピックでは再び大きな「5つの輪」を見たいと思っています。2020年東京オリンピックを成功させ、1964年当時のような日本を再び取り戻せないものでしょうか。2020年の東京オリンピックで「ブルーインパルス」のような高い技術と品質により、日本の勢いを再び世界中に見せたいと思っています。



出



典：航空自衛隊ホームページ

http://www.mod.go.jp/asdf/special/download/wallpaper/T-4_Blueimpulse/index.html

http://www.mod.go.jp/asdf/pr_report/blueimpulse/program/index.html